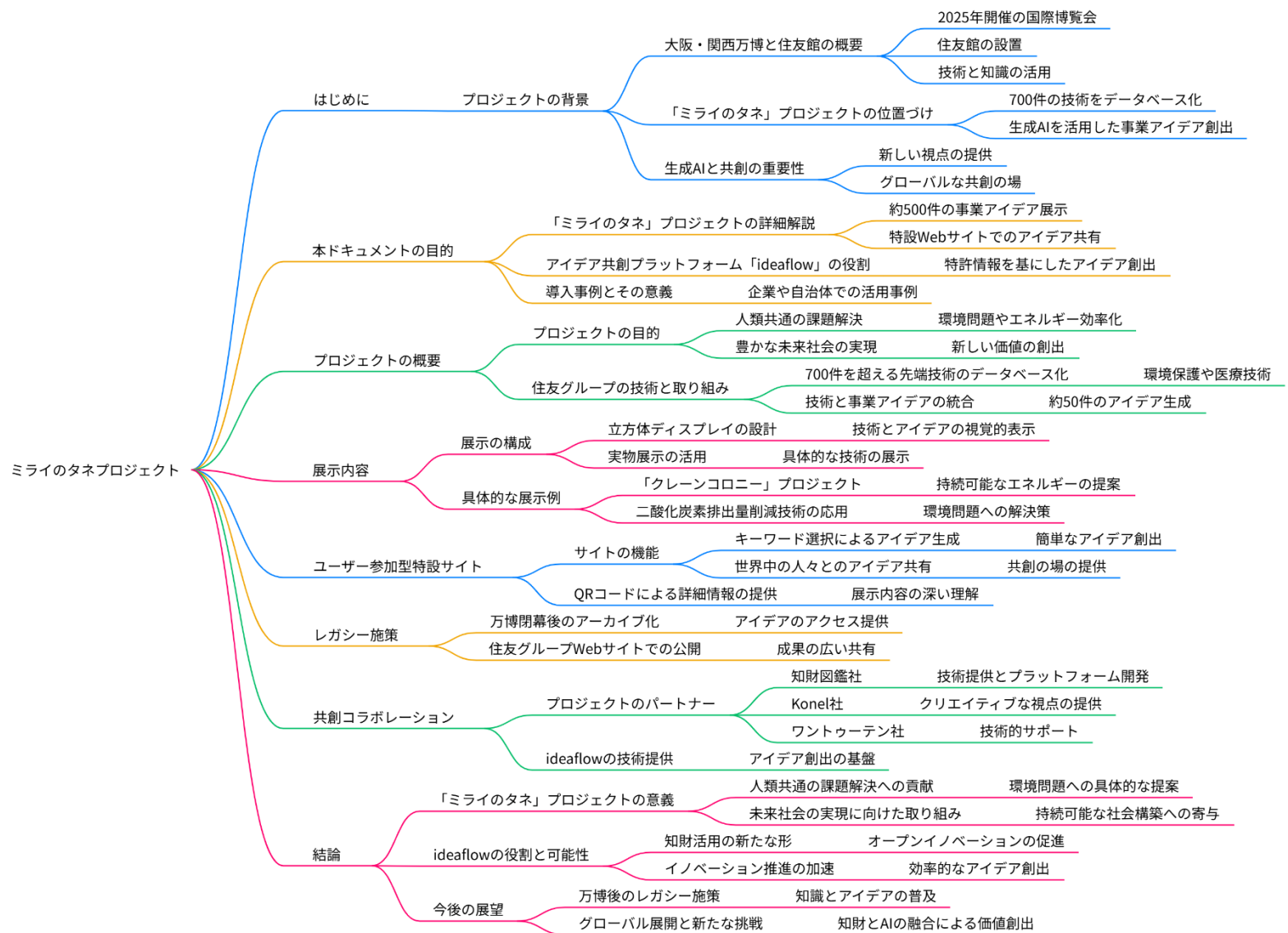


「AI で生成した事業アイデア 700 を万博「住友館」で披露 「ミライのタネ」プロジェクト

Felo AI



1. はじめに

1.1 プロジェクトの背景

1.1.1 大阪・関西万博と住友館の概要

2025 年に開催される大阪・関西万博は、世界中から注目を集める国際博覧会であり、未来社会の実現に向けた革新的なアイデアや技術が披露される場となります。この万博において、住友グループは「住友館」というパビリオンを設置し、独自の技術や取り組みを展示する予定です。「住友館」は、住友グループが数世紀にわたって培ってきた技術や知識を活用し、未来社会の課題解決に向けたアイデアを提示する場として設計されています[1][5][7]。

住友館の建築には、住友の森の木々が活用されており、自然と技術の融合を象徴する空間が提供されます。さらに、館内では「いのちの物語」に触れるインタラクティブな体験や植林体験を通じて、環境問題への関心を高める取り組みが行われます[5][7][9]。これにより、住友館は単なる展示の場に留まらず、来場者が未来社会の構築に向けた行動を促される場となることを目指しています。

1.1.2 「ミライのタネ」プロジェクトの位置づけ

「ミライのタネ」プロジェクトは、住友館の中心的な展示内容として位置づけられています。このプロジェクトは、住友グループ各社が保有する 700 件を超える最先端技術や取り組みをデータベース化し、それを基に生成 AI を活用して未来型の事業アイデアを創出するものです[1][4][6]。これらのアイデアは、住友館内で展示されるだけでなく、特設 Web サイトを通じて世界中の人々と共有される仕組みが整えられています[4][6][15]。

「ミライのタネ」は、人類共通の課題解決や豊かな未来社会の実現を目指すプロジェクトとして設計されており、住友グループの技術と取り組みを未来社会の構築に活用することを目的としています[14][16]。また、生成 AI を活用することで、従来のアイデア創出プロセスを革新し、より多様で創造的なアイデアを生み出すことが可能となっています[1][4][6]。

1.1.3 生成 AI と共創の重要性

生成 AI は、「ミライのタネ」プロジェクトの核となる技術であり、住友グループが保有する技術や取り組みを基に、未来型の事業アイデアを大量に生成する役割を果たしています[1][4][6]。生成 AI は、特許情報や技術データを分析し、それを基にテキストと画像のセットでアイデアを出力する能力を持っています。このプロセスにより、従来のアイデア創出方法では得られなかった新しい視点や可能性が生まれています[1][4][6][19]。

さらに、生成 AI を活用した共創の重要性は、単なる技術革新に留まらず、社会全体の課題解決や未来社会の構築に向けた取り組みを促進する点にあります。特設 Web サイトを通じて、世界中の人々が「ミライのタネ」を創出し、共有することが可能となり、これによりグローバルな共創の場が形成されます[4][6][15]。このような共創のプロセスは、住友グル

ープの技術と取り組みを最大限に活用し、未来社会の実現に向けた具体的な行動を促すものとなっています[14][16][19]。

1.2 本ドキュメントの目的

1.2.1 「ミライのタネ」プロジェクトの詳細解説

本ドキュメントの目的は、「ミライのタネ」プロジェクトの詳細を解説し、その意義や成果を明らかにすることです。

「ミライのタネ」プロジェクトは、住友グループの技術や取り組みを基に、生成 AI を活用して未来型の事業アイデアを創出する革新的な取り組みです[1][4][6]。このプロジェクトでは、住友館内で約 500 件の事業アイデアが展示され、会期中に一部が入れ替えられる予定です[1][4][6]。

さらに、特設 Web サイトを通じて、参加者がキーワードを選ぶだけで「ミライのタネ」を創出できる仕組みが提供されており、これにより世界中の人々が未来社会の構築に向けたアイデアを共有することが可能となります[4][6][15]。本ドキュメントでは、これらのプロジェクトの詳細な内容やその意義について解説します。

1.2.2 アイデア共創プラットフォーム「ideaflow」の役割

「ミライのタネ」プロジェクトの実現には、知財図鑑が開発したアイデア共創プラットフォーム「ideaflow」が重要な役割を果たしています。「ideaflow」は、公開されている特許情報を基に、生成 AI を活用して事業アイデアを大量に作成する Web サービスです[19][20][23]。このプラットフォームは、特許情報の要約やアイデアの提案、可視化、AI エージェントとの対話機能など、多様な機能を備えています[19][20][23][24]。

「ideaflow」は、住友グループの 700 件を超える技術や取り組みをデータベース化し、それを基に未来型の事業アイデアを創出する技術基盤を提供しています[4][19][20]。本ドキュメントでは、「ideaflow」の具体的な機能やその役割について詳しく解説し、「ミライのタネ」プロジェクトにおけるその重要性を明らかにします。

1.2.3 導入事例とその意義

「ideaflow」は、「ミライのタネ」プロジェクトだけでなく、さまざまな企業や自治体、教育機関で導入されており、その成果が注目されています[32][33][34]。例えば、株式会社カプコンや貝印株式会社、アズビル株式会社、東洋製罐グループホールディングス株式会社などの企業が「ideaflow」を活用し、新規事業の創出やイノベーションの推進に成功しています[32][33][34]。

また、特許庁（I-OPEN プロジェクト）や宮城県（テクスタ宮城）、石川県発明協会、早稲田大学、神奈川大学などの自治体や教育機関でも「ideaflow」が導入され、知財を活用した新しいアイデアの創出が行われています[33][34]。本ドキュメントでは、これらの導入事例を通じて、「ideaflow」の意義やその可能性について詳しく解説します。

2. 「ミライのタネ」プロジェクト

2.1 プロジェクトの概要

2.1.1 プロジェクトの目的

2.1.1.1 人類共通の課題解決

「ミライのタネ」プロジェクトは、人類が直面する共通の課題を解決することを目的としています。このプロジェクトは、住友グループが保有する 700 件を超える最先端技術や取り組みを活用し、生成 AI を通じて未来型の事業アイデアを創出する革新的な試みです[1][4]。例えば、環境問題、エネルギー効率化、持続可能な社会構築など、地球規模での課題に対して具体的な解決策を提案することを目指しています[6][14]。

このプロジェクトでは、生成 AI を活用して、各技術に基づいた約 50 件のアイデアをテキストと画像のセットで出力し、それを基に住友グループの担当者が選定したアイデアを展示しています[1][3]。これにより、技術の可能性を最大限に引き出し、課題解決に向けた具体的なアプローチを提供しています。

2.1.1.2 豊かな未来社会の実現

「ミライのタネ」プロジェクトのもう一つの重要な目的は、豊かな未来社会の実現です。このプロジェクトは、住友グループの技術や取り組みを基盤に、未来社会における新しい価値を創出することを目指しています[4][6]。例えば、持続可能なエネルギー技術や環境保護に関する革新的なアイデアを通じて、未来の社会における生活の質を向上させることを目指しています[1][14]。

住友館では、これらのアイデアを展示することで、来場者に未来社会の可能性を体感してもらうとともに、世界中の人々とアイデアを共有する場を提供しています[6][14]。これにより、未来社会の実現に向けた共創の場を広げることが可能となります。

2.1.2 住友グループの技術と取り組み

2.1.2.1 700 件を超える先端技術のデータベース化

「ミライのタネ」プロジェクトの基盤となるのは、住友グループが保有する 700 件を超える最先端技術や取り組みのデータベース化です[4][6]。これらの技術は、環境保護、エネルギー効率化、医療技術など、幅広い分野にわたっています[1][4]。

このデータベースは、生成 AI によるアイデア創出の基盤として活用されており、各技術に基づいた未来型の事業アイデアを生成するための重要なリソースとなっています[1][4]。例えば、住友重機械建機クレーンのクローラクレーンを基にした「クレーンコロニー」プロジェクトなど、具体的な技術を活用したアイデアが生まれています[1][3]。

2.1.2.2 技術と事業アイデアの統合

住友グループの技術と事業アイデアの統合は、「ミライのタネ」プロジェクトの中心的な要素です[4][6]。生成 AI を活用して、各技術に基づいた事業アイデアを生成し、それを住友館で展示することで、技術の可能性を最大限に引き出しています[1][3]。

このプロセスでは、生成 AI が各技術に基づいて約 50 件のアイデアを出力し、その中から住友グループの担当者が選定したアイデアを展示しています[1][3]。これにより、技術と事業アイデアが統合され、具体的な課題解決や未来社会の実現に向けたアプローチが提供されています。

2.2 展示内容

2.2.1 展示の構成

2.2.1.1 立方体ディスプレイの設計

住友館の展示では、立方体ディスプレイが設計されており、先端技術と事業アイデアをセットで見られるように工夫されています[1][3]。立方体の 2 面にそれぞれ技術とアイデアが配置されており、来場者が直感的に内容を理解できるようになっています[1][3]。

この設計は、技術とアイデアの関係性を視覚的に示すことで、来場者に新しい視点を提供するとともに、技術の可能性を最大限に引き出すことを目的としています[1][3]。

2.2.1.2 実物展示の活用

住友館では、一部の先端技術について実物展示も活用されています[1][3]。例えば、住友重機械建機クレーンのクローラクレーンなど、具体的な技術を実際に見ることができる展示が行われています[1][3]。

これにより、来場者は技術の実際の応用例を体感することができ、技術の可能性や未来社会への貢献をより深く理解することができます[1][3]。

2.2.2 具体的な展示例

2.2.2.1 「クレーンコロニー」プロジェクト

「クレーンコロニー」プロジェクトは、住友重機械建機クレーンのクローラクレーンを基にした事業アイデアであり、持続可能なエネルギーで未来のインフラを構築することを目指しています[1][3]。このプロジェクトは、二酸化炭素排出量を 90%削減できる技術を活用しており、環境保護と持続可能な社会構築に向けた具体的なアプローチを提供しています[1][3]。

2.2.2.2 二酸化炭素排出量削減技術の応用

住友館では、二酸化炭素排出量削減技術を応用した事業アイデアも展示されています[1][3]。これらのアイデアは、環境問題に対する具体的な解決策を提供するとともに、未来社会における持続可能な生活の実現に向けた可能性を示しています[1][3]。

2.3 ユーザー参加型特設サイト

2.3.1 サイトの機能

2.3.1.1 キーワード選択によるアイデア生成

「ミライのタネ」プロジェクトでは、生成 AI を活用したユーザー参加型特設サイトが提供されています[4][6]。このサイトでは、参加者がキーワードを選ぶだけで未来を豊かにするアイデア「ミライのタネ」を生成することができます[4][6]。

この機能は、誰もが簡単にアイデアを創出できる環境を提供するとともに、世界中の人々が共創に参加できる場を提供しています[4][6]。

2.3.1.2 世界中の人々とのアイデア共有

特設サイトには、創出されたアイデアを世界中の人々と共有する機能も実装されています[4][6]。これにより、参加者は自分のアイデアを他の人々と共有し、共創の場を広げることができます[4][6]。

2.3.2 QR コードによる詳細情報の提供

住友館の展示では、各技術と事業アイデアに QR コードが用意されており、スマートフォンなどで詳細な内容を参照することができます[1][3]。これにより、来場者は展示内容をより深く理解することができ、技術の可能性や未来社会への貢献を体感することができます[1][3]。

2.4 レガシー施策

2.4.1 万博閉幕後のアーカイブ化

「ミライのタネ」プロジェクトでつくられたアイデアや元となった技術・取り組みは、万博閉幕後に「レガシー施策」として住友グループの **Web** サイト上でアーカイブ化される予定です[4][6]。これにより、世界中の人々がこれらのアイデアにアクセスし、共創に参加することが可能となります[4][6]。

2.4.2 住友グループ **Web** サイトでの公開

住友グループの **Web** サイトでは、「ミライのタネ」プロジェクトの成果が公開される予定です[4][6]。これにより、プロジェクトの成果を広く共有し、未来社会の実現に向けた共創の場を提供することが可能となります[4][6]。

2.5 共創コラボレーション

2.5.1 プロジェクトのパートナー

2.5.1.1 知財図鑑社

「ミライのタネ」プロジェクトは、知財図鑑社の技術提供を受けて実現しました[4][6]。知財図鑑社は、アイデア共創プラットフォーム「ideaflow」を開発し、プロジェクトの技術基盤を提供しています[4][6]。

2.5.1.2 Konel 社

Konel 社は、「ミライのタネ」プロジェクトにおいてクリエイティブな視点を提供し、技術とアイデアの統合を支援しました[4][6]。

2.5.1.3 ワントゥーテン社

ワントゥーテン社は、プロジェクトの実現に向けた技術的なサポートを提供し、住友館での展示内容の設計に貢献しました[4][6]。

2.5.2 ideaflow の技術提供

「ミライのタネ」プロジェクトでは、知財図鑑社が開発したアイデア共創プラットフォーム「ideaflow」が技術提供され

ています[4][6]。このプラットフォームは、特許情報を基に事業アイデアを創出する技術基盤を提供しており、プロジェクトの成功に大きく貢献しています[4][6]。

5. 結論

5.1 「ミライのタネ」プロジェクトの意義

5.1.1 人類共通の課題解決への貢献

「ミライのタネ」プロジェクトは、住友グループが保有する 700 件を超える最先端技術や取り組みをデータベース化し、それを基に生成 AI を活用して未来型の事業アイデアを創出するという革新的な試みです。このプロジェクトは、人類が直面する共通課題の解決を目指しており、環境問題、エネルギー効率化、持続可能な社会構築など、幅広い分野での貢献が期待されています[1][4][6]。

例えば、住友重機械建機クレーンのクローラクレーンを基にした「クレーンコロニー」プロジェクトでは、二酸化炭素排出量を 90%削減する技術を活用し、持続可能なエネルギーで未来のインフラを構築するアイデアが提案されています。

このような具体的な事例は、技術とアイデアの融合による課題解決の可能性を示しています[1][3][6]。

さらに、特設 Web サイトを通じて、世界中の人々がキーワードを選ぶだけで未来を豊かにするアイデアを生成し、それを共有することが可能となっています。この仕組みは、個々の参加者が人類共通の課題解決に向けたアイデア創出に貢献できる場を提供しており、プロジェクトの社会的意義を高めています[4][6][18]。

5.1.2 未来社会の実現に向けた取り組み

「ミライのタネ」プロジェクトは、未来社会の実現に向けた具体的な取り組みを推進しています。住友グループの技術や取り組みを基にしたアイデアは、豊かな未来社会の構築を目指しており、環境保護、社会的包摂、技術革新など、多岐にわたる分野での応用が期待されています[4][6][15]。

例えば、住友商事の「bottlium®」や住友化学の「コンフォーマ」を基にしたアイデアは、持続可能な素材を活用した未来型の製品やサービスの開発を提案しています。このようなアイデアは、未来社会における資源の効率的な利用や環境負荷の軽減に寄与する可能性があります[6][15][17]。

また、万博閉幕後には、プロジェクトで生成されたアイデアや元となった技術・取り組みが「レガシー施策」として住友グループの Web サイト上でアーカイブ化され、世界中に共有される予定です。この取り組みは、未来社会の実現に向けた知識とアイデアの普及を促進し、持続可能な社会構築への貢献を目指しています[6][15][18]。

5.2 ideaflow の役割と可能性

5.2.1 知財活用 of 新たな形

アイデア共創プラットフォーム「ideaflow」は、知財活用 of 新たな形を提案しています。このプラットフォームは、公開されている特許情報を基に生成 AI を活用して事業アイデアを大量に作成する仕組みを提供しており、特許の要約、事業アイデアの提案、可視化、AI エージェントとの対話機能など、多様な機能を備えています[19][20][24]。

特許情報をわかりやすく翻訳し、誰もがアクセス可能な形で提供することで、知財の流動化を促進し、オープンイノベーションを巻き起こすことを目指しています。この取り組みは、従来の知財管理の枠を超え、知財を新規事業の創出や社会課題の解決に活用する新しい可能性を示しています[19][20][30]。

また、ideaflow は、住友館の「ミライのタネ」プロジェクトに技術提供を行い、住友グループの 700 件を超える最先端技術や取り組みを基にしたアイデア創出を支援しています。このような具体的な導入事例は、知財活用 of 新たな形としての ideaflow の可能性を示しています[4][19][22]。

5.2.2 イノベーション推進の加速

ideaflow は、イノベーション推進の加速に寄与するプラットフォームとしての役割を果たしています。特許情報を基にした事業アイデアの生成は、効率的なアイデア創出、市場ニーズへの迅速な対応、リスクの軽減、競争力の向上など、多くのメリットをもたらします[19][35][41]。

例えば、特許情報と産業分野を指定することで、生成 AI が未来の事業アイデアを作成し、飛躍的なアイデアから現実的なアイデアまで幅広い方向性を示すことが可能です。このプロセスは、ユーザーの期待値に寄り添ったアイディエーションを実現し、イノベーションの推進を加速します[19][20][35]。

さらに、AI エージェントとの対話機能を活用することで、アイデアのリスク分析や活用シーンのブレインストーミング、コラボパートナーの提案や検証プロセスのアドバイスなど、自然言語でのやり取りを通じて高度なアシストを得ることができます。この機能は、アイデアの精度を高め、イノベーションの成功率を向上させる可能性を秘めています[24][40][41]。

5.3 今後の展望

5.3.1 万博後のレガシー施策

「ミライのタネ」プロジェクトで生成されたアイデアや元となった技術・取り組みは、万博閉幕後に「レガシー施策」として住友グループの Web サイト上でアーカイブ化され、世界中に共有される予定です。この取り組みは、未来社会の実

現に向けた知識とアイデアの普及を促進し、持続可能な社会構築への貢献を目指しています[6][15][18].

また、住友館で展示された約 500 件の事業アイデアは、万博閉幕後も継続的に活用される予定であり、これらのアイデアが新たな事業や社会的価値の創出につながる可能性があります。このようなレガシー施策は、プロジェクトの成果を長期的に活用し、未来社会の実現に向けた取り組みを継続するための重要なステップとなります[6][15][18].

5.3.2 グローバル展開と新たな挑戦

ideaflow は、グローバル展開と新たな挑戦を視野に入れています。2025 年 2 月には個人ユーザー向けの無料版が公開される予定であり、中小企業やスタートアップ、個人研究者など幅広いユーザーが知財情報と AI を駆使して新たなアイデアを生み出す機会を得られるようになります[22][40].

さらに、世界最大規模のテクノロジー見本市「CES 2025」に出展し、グローバル企業や行政機関、投資家に向けて日本発の知財×AI ソリューションの魅力をアピールする予定です。この取り組みは、事業提携や開発パートナー獲得につながり、新規事業創出の促進に寄与することが期待されています[40].

ideaflow のグローバル展開は、知財活用の新たな形を世界中に広めるとともに、イノベーション推進の加速を目指す重要なステップとなります。この挑戦は、知財と AI の融合による新たな価値創出を実現し、未来社会の構築に向けた貢献を果たすものです[40][41].

1. [AI で生成した事業アイデア 700 を万博「住友館」で披露](#)
2. [住友館 – X](#)
3. [AI で生成した事業アイデア 700 を万博「住友館」で披露](#)
4. [【大阪・関西万博】住友館の共創プロジェクト「ミライのタネ ...](#)
5. [住友館 | EXPO 2025 大阪・関西万博公式 Web サイト](#)
6. [住友館 大規模な参加型共創プロジェクト「ミライのタネ」を ...](#)
7. [ついに開館！住友館の見どころ総まとめ！ | TOPICS](#)
8. [【大阪・関西万博】住友館の共創プロジェクト「ミライのタネ ...](#)
9. [さあ、森からはじまる未来へ 大阪・関西万博「住友館 ...](#)
10. [大阪万博:「デジタルの森」ランタン持ち巡る...万博・住友館 ...](#)
11. [アッ！と驚くアイデア、できタネ！みんなと住友グループで ...](#)
12. [AI で生成した事業アイデア 700 を万博「住友館」で披露](#)
13. [AI で生成した事業アイデア 700 を万博「住友館」で披露 – X](#)
14. [住友館 大規模な参加型共創プロジェクト「ミライのタネ」を ...](#)
15. [【大阪・関西万博】住友館の共創プロジェクト「ミライのタネ ...](#)
16. [アッ！と驚くアイデア、できタネ！みんなと住友グループで ...](#)

17. [AIで生成した事業アイデア 700 を万博「住友館」で披露](#)
18. [ミライのタネ Seeds For The Future | 大阪・関西万博「住友館」](#)
19. [知財図鑑が AI を使ったアイデア共創プラットフォーム ...](#)
20. [知財図鑑が AI を使ったアイデア共創プラットフォーム ...](#)
21. [新規事業のアイデア共創プラットフォーム「ideaflow ... - note](#)
22. [アイデア共創プラットフォーム「ideaflow」無料版を一般公開](#)
23. [未来を変える妄想を、ideaflow で見つけよう](#)
24. [ideaflow \(アイデアフロー\) - 知財図鑑](#)
25. [アイデア共創プラットフォーム「ideaflow」が製品版を一般 ...](#)
26. [ideaflow | Konel Inc.](#)
27. [知財図鑑が AI を使ったアイデア共創プラットフォーム ...](#)
28. [知財から瞬時に・大量にビジネスアイデアを生み出す ヒトと ...](#)
29. [ideaflow について | trendangel - note](#)
30. [知財図鑑はなぜ、ideaflow を作ったのか？ | 荒井 亮 \(Arai Ryo\)](#)
31. [プラン - ideaflow](#)
32. [アイデア共創プラットフォーム「ideaflow」が製品版を一般 ...](#)
33. [アイデア共創プラットフォーム「ideaflow」無料版を一般公開](#)
34. [アイデア共創プラットフォーム「ideaflow」が製品版を一般 ...](#)
35. [ideaflow について | trendangel - note](#)
36. [未来を変える妄想を、ideaflow で見つけよう](#)
37. [知財図鑑が AI を使ったアイデア共創プラットフォーム ...](#)
38. [ideaflow | Konel Inc.](#)
39. [ideaflow \(アイデアフロー\) - 知財図鑑](#)
40. [知財×AI で新規事業創出を加速する「ideaflow」 - PR TIMES](#)
41. [知財図鑑が AI を使ったアイデア共創プラットフォーム ...](#)